

会 長	事務局長	チーフ	担 当

議 事 録

令和7年 5月 21日

記 録 者 名	山崎 寛子
会 議 名	一般社団法人天草宝島観光協会 令和7年度 第1回理事会
日 時	期 日：令和7年5月20日（火） 時 間：14時00分 ～15時00分
場 所	天草宝島国際交流会館ポルト3階多目的ホール
議 事 内 容	
<次第> 1 開会 2 会長あいさつ 3 議題 【総会議題】 （1） 令和7年通常総会について（審議） （2） 令和6年度事業報告並びに決算報告について（審議） 監査報告 （3） 定款変更（理事数の変更）について（審議） （4） 役員の改選について（審議） （5） 令和7年度事業計画及び収支予算について （6） その他 【理事会議題】 （1） 新規会員の承認・退会会員の報告について （2） 事業経過報告（4月～5月）について（報告） （3） 令和7年度海開きについて（報告） （4） 令和7年度業務委託の内容について（報告） （5） ご意見・クレームについて（報告） （6） その他 4 閉会 <出席者>理事会資料参照	

（中山事務局長）

定刻を過ぎておりますが、まだ田口副会長がこちらに向かっている最中でございます。通常なら田口副会長に議長をお願いするところでございますけれども、15分くらいは遅れますということで、先に始めたいと思います。ただ、今の出席されている理事の方の数をカウントしてみると、定数19名に対して8名であり、過半数の10名までは届いていない状態でございます。

1名田口さんが到着されたとして9名ということで、まだ過半数には満たない状態です。一応事前の状況でございます。

（山下副会長）

連絡は今、伝わっているんですか？

（中山事務局長）

まあ、成立見込みということですね。ということで、スタートしてもよろしいですか？お時間もったいないですので、令和7年の第1回の理事会を始めたいと思います。事前に確認ですけれども、事前に郵送しました資料はお持ちいただいておりますでしょうか？お手元に郵送した品物の資料がないという方は、挙手にお知らせください。

加えて、もともと新しく配布すべき資料を、クリップ止めのですね、貸借対照表と、収支予算書、および新理事の名簿をお配りしております。江崎さんがお見えになりました。これで田口副会長がお見えになれば、理事会の成立となりますので、ご承知おきください。

はい、それでは、開会ということで、まずは会長挨拶ということで、藤本会長にご挨拶をいただきたいと思います。

（藤本会長）

はい、皆さん、お疲れ様です。着座にて失礼します。本当、お忙しい中、第1回理事会にご参加いただきまして、ありがとうございます。また、ゴールデンウィーク中ですね、最大11連休ということもあり、天候にも恵まれ、各地へイベントなどもあり、大変賑わったことと思います。

また、ポナンクルーズもですね、無事受け入れたということで、局長をはじめ、職員の皆様も大変お疲れ様でした。また、来年も寄港されるということで、来年もしっかり対応をお願いしたいと思います。

さて、コロナ感染症が終わって、丸2年経ちます。今後、ますますですね、もうコロナは過去のものとなり、旅行需要も高まってくると予測されます。まあ、来年はご承知のように、雲仙天草国立公園70周年、プラス、県全体で行いますD.C.キャンペーンもありますので、ここも引き続き交流人口の拡大に取り組んで、関係機関とですね、連携して取り組んで参りますので、今年度も引き続き、皆様のご理解、ご協力のほどよろしくお願いしまして、挨拶とさせていただきます。では、今回も忌憚のない意見をいただきながら進みたいと思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。

（中山事務局長）

はい、藤本会長ありがとうございました。それでは、この理事会ですね、先ほど申し上げたとおり、現理事数19人に対し、10名の出席見込みということで成立をいたします。

議題に入ります前に1点PRです。事務局職員、4月1日からですね、新しく平山さんがメンバーに加わっております。平山さん、一言挨拶を、30秒ぐらいでお願いします。

（平山）

お疲れさまです。4月1日から働いております、平山と申します。これから頑張りますので、よろしくお願い致します。

（中山事務局長）

はい、12月に入った金子君と合わせて、同じ、同い年という事ですね、若いフレッシュな力が、事務局を盛り上げていくことと確信しております。この後、平山さんは窓口対応があり、退席させていただきます。

それでは、議題に入っていきたいと思いますが、お手元の理事会の議題をご覧ください。大きく2つですね、総会議題、および、理事会の議題というふうになってございます。

まず、総会ですね、最初の大きな議題としましては、総会議題となりまして、総会次第という表面の資料をご覧ください。

まず、令和7年通常総会については、令和6年度最後の理事会、第4回理事会で決まりましたとおり、日時は6月25日水曜日15時より、ホテルアレグリアガーデンズ天草で開催いたします。次第としましては、開会、会長挨拶、観光労働者表彰、来賓挨拶、議長選出、議事録署名人指名、議事、議長解任、閉会といった流れになります。

現在、総会次第3つ目の観光功労者表彰につきましては、事前にお伺いをさせていただいておりますが、指名の状況がなく、現在のところ、表彰者の対象者なしといったところで進む予定です。

来賓挨拶につきましては、従来通りのところで、これから案内を送付する予定としております。はい、それでは、総会の中身ですね、7番目の議事のところについて、説明していきたいと思いますが、ご承知の通り、この理事会終わった後ですね、新理事予定者会議を3時ぐらいからしたいと思っておりますので、詳細な説明については割愛しながら進みますので、後程お読み取りいただければと思います。

それでは、総会次第の表紙をおめくりいただきまして、議案の第1号ですね、令和6年度の事業報告ということで書いてあります。

まず最初に令和6年度の補助事業ということで、各種キャンペーンの実施及び販売活動推進ということで、①がテレビCMですね。②は各支部事業といったことで、各支部の主だった内容が記載されてございます。各支部の事業の開催状況は後ほどお読み取りください。

5ページの下の方ですね、台湾現地商談会、令和6年度としましては、2回、出席しております。10月に、台湾旅行者向けにですね、PRをさせていただき、2回目は年明け1月の18日～19日で、個人旅行向けといったところでPRをさせていただいております。6ページ③の部会活動ですね。役員改選ということで、各部会の役員を載せております。

③ハイフンの2では、ホームページの統合、旧部会のホームページを元の観光協会サイトに統合しました。7ページの上④の天草朝食では事業費は0ということですが、ホームページのページビュー数の実績を載せております。7ページの中段、観光に関する調査研究並びに情報の収集提供、(1)が情報の収集アンケートの分析、アンケート対象は天草伊勢えび祭りとうに三昧に対して集計分析を行っております。3番目観光客受入態勢の整備です。(1)情報媒体の作成、主だっは天草ランチガイドブック45000部を発行して、配布をしました。8ページになります。(2)の観光客受入態勢整備ですが、こちらはホームページの多言語自動翻訳機能を実施しております。加えてイラストマップの改訂増刷ですね。日本語版で8万9千部、英語版で千部というところで、こちら主要拠点等々に配慮しております。

中段はホームページのアクセス数と月間ページビューの折れ線グラフを載せております。8ページの最下段は、多言語翻訳ということで、こちら月別の閲覧数を載せております。9ページ、四番目ですね。観光関係諸機関との連絡協力で、こちらは関係機関との連携事業となります。内訳として南天草との連携ですね。主には出水長島天草地区、シャトルバスの利用促進協議会ですね。②は島の宝観光連盟で、先月全体会があり、田口副会長に出席いただいております。

昨年で行きますと、11月に東京の離島百貨店で島のミステリーを探しに行こうといったイベントを開催いたしました。

③のところは、天草宇土半島および周辺地域の観光協会にも連携にかかる事業ということで、VISIT天草プロジェクトの実行委員会であつたり天草地域観光推進協議会、天草市苓北町の観光連携事業実行委員会等々で、あとは6年度で行きますと県民体育祭に登録しております。ここまでの補助事業の中身となります。

それではおめくりいただきまして10ページですね。ここからは特別会計の中身となってまいります。まず一番目の着地型旅行商品ですね。こちらは天草ツアーとして公式ホームページで、通年で旅行商品の販売を行っていて、実績はご覧の通りとなります。

1)ー②番目は化石採集クルージングということで、こちらは、県からの委託事業として旅行商品として実施をし、参加人数はそこに記載してある通りとなります。

2)の業務委託費ですね。こちらは観光資源開発及び保護育成といったところで、まずは(1)ですね。旅行商品造成といったところで、R6年度内に三つ以上の旅行商品を造成するといったところで、体験プラス宿泊をセットにしてプランを作成しております。御所浦における二つのプランおよび牛深における一つのプランといったところで、トータルで3つの体験プラス宿泊のプランを造成しております。

②、11ページの中ほど、観光客受け入れ態勢整備(牛深観光案内所)といったところでご覧の受託料をいただき、南の玄関口になります牛深港で観光客の利便性に利用しております。

③、こちらは補助事業へ移行ということで、先ほどのページをご参照ください。

④崎津集落清掃業務は、崎津の観光交流広場の定期清掃業務を受託しております。

⑤宿泊客数調査、こちらも天草市からの委託事業として、市内の宿泊客数を調査しております。

⑥チャリチャリの実証実験ということで、福岡と熊本で拡大しているところを天草で進めているといった

内容になります。12ページの最上段はポルトの委託料といったところで、ご覧の委託料で受託しております。最後、その他の委託ですけれども、先ほど会長からもありましたクルーズ船の受入対応ということで、昨年令和6年度は、4月の23日、5月の1日、6日と計3回の寄港があり、ご覧の内容の観光プランを提供しております。2番目は冬の天草誘客推進協議会ということで、イルミネーションイベント「天草ロマンティックファンタジー」の運営事業も受託しております。

3番目は牛深ハイヤ保存会こちらも事務局委託費をいただいて、年間の出演手配等々を行っております。最後4番の自主事業、こちらはまず最初に1番目は食のキャンペーンということで、①は春ですね、第9回の天草生うに三昧、ご覧の中身で実施し、中段以降は売上の推移であったり、月別の売上高等が記載をしています。

ページをめくりいただきますと、14ページは夏から冬にかけての伊勢えび祭りといったところで、漁の解禁時期に合わせて、ご覧の中身で宿泊プランとお食事のプランを提供しております。③の秋から冬の井井フェアにつきましては、実行委員会としては事務局を観光協会内には置かず、店舗からの参加費を自主財源として独自で開催をしております。④天草大王と車エビでは、実行委員長との協議の結果、6年度は実施なしということです。最後、委託費ですね。一番のdmo推進費、今後どんなことがDMOに対して必要なのかということで、下呂温泉の瀧会長をお招きして、理解を深めております。内容要約として、記載しておりますところを後ほどお読み取りください。はい、ここまでが議案の第1号ですね。すみません、私、あの議長を代行するということで進めておりますが、議案の一号、令和6年の事業報告について、質問、確認、ご意見等ございましたらお願いいたします。よろしゅうございますか？

はい。それでは議案の第2号ということで、令和6年の決算および監査報告についてとなります。こちらは、事前には郵送できてないと思うんですけども、先ほど机の上に置いてありました貸借対照表をご確認ください。左肩クリップ一つで止まっていると思うんですけども、4枚あります。手前から令和6年度の一般会計の貸借対照表。2枚目が一般会計の正味財産増減計算書、3枚目が特別会計の貸借対照表、4枚目が特別会計の正味財産増減計算書という順番になってございます。

(山崎)

はい。では、本会計(一般会計)の貸借対照表の中身を読み上げます。資産の部の方で、流動資産合計が、431万飛んで671円、固定資産の合計の230万飛んで10円と合わせまして661万飛んで681円。

負債の部の方で流動負債の合計が658万4305円、負債および正味財産の合計が661万飛んで681円となっております。

ページをおめくりいただきまして、次がその中身の正味財産の増減計算書になります。今年度受け取り会費が537万円。補助金受け取り補助金の方が43,468,000円。経常収益計が5000万飛んで51405円。

経常費用の事業費ですね。こちらが23,644,077円。一番下の方に行きまして経常費用計が53,535,672円当期経常増減額が-3,484,267円ということになっております。

次が特別会計の方の三枚目の貸借対照表です。流動資産合計が35,972,399円。資産の合計も同じくなります。負債の合計が5,778,740円。負債および正味財産の合計が35,972,399円です。

続きまして、正味財産の増減計算書ですね。こちらの方が経常収益計になりますけれども、35,256,103円、当期経常増減額が1,848,733円、一般正味財産の期末残高が、3000万飛んで193,659円となっております。以上です。

(中山事務局長)

はい。田口副会長、お見えなんですけども、ここまで議長代行します。令和6年度の決算報告の中身につきまして、何かご質問やお聞きになりたいこと等ございましたら、お知らせください。

よろしゅうございますか。はい。通常総会の方ではこの後に監事の方からご報告いただくということになりますので、来月のところはよろしくお願い申し上げます。それでは議案の第3号になりますけれども、田口副会長、ここから議長をお願いしてもよろしいですか？

(田口副会長)

はい、すみません。遅くなりました。では3号目。

(中山事務局長)

はい。それでは総会議案の3つ目ですね。定款変更(理事数の変更)になります。こちらはですね。昨年の12月に第3回の理事会の前に総務委員会があり、支部の統廃合と合わせた形での理事数減少ですね。そういったところがあってですね。3月の理事会で、承認されました。それに伴いまして、そこには定款

変更の必要があるというところで議案第3号に挙げております。現行の四角い囲んであるところですね。理事の数15人以上25人以内といったところが、改正案としましては、10人以上17人以内というところで改正案となっております。

下にありますのは現行の各支部の理事数といったところで記載があって、17ページの改正案といったところに変更するといった中身となっております。一応、ここは総会での審議といったところになりますけれども、今この場で何かご意見とかありましたら。

はい、17ページですね。改正のところの支部の名称は、誤りではないんですけども、上から4つ目の天草東支部といったところがちょっとわかりづらいところがあるので、こちらを倉岳栖本支部に変えておいてください。今まで天草東支部と称して、栖本・倉岳・御所浦三つを包括した呼び方をしておりましてけれども、天草東はちょっとわかりづらいので、天草東支部の代わりに倉岳栖本支部というふうに読み替えを行います。

(山下副会長)

細かいですけど。理事候補者名簿は栖本倉岳になってます。

(中山事務局長)

はい、そうです。今山下副会長からご指摘あった通り、事前に机の上に置いていた。3つ目ですね。あの。理事候補者名簿といった。この後、新理事予定者会議で使うものにはなるんですけども、その支部のやり方は、従来の天草東支部の3名から矢印引っ張って、栖本倉岳で一名、御所浦で一名といったことで、こちらは最新の状況になっております。失礼しました。

(山下副会長)

表記が栖本倉岳になってます。

(中山事務局長)

はい。どちらが正式名称が今この場でですね。お決めいただければ、非常に事務局としてはやりやすいかなと思っておって。

(※山崎から倉岳の倉田理事に確認)

(中山事務局長)

倉田理事からのお話もあったので、栖本倉岳の呼称とします。ありがとうございます。

続いて議案の4つ目ですね。こちらが今回、改選年度にあたるというところになります。18ページですね。役員の改選について議案第4号になります。

提案理由としましては、理事の任期が二年で、本年度が役員改選となるためといったところで、下には定款の抜粋を置いております。

こちら改正案のところでも天草東支部を栖本倉岳に書き換えていただければと思います。よろしくお願いします。

こちらは議案3号で、定款の変更が成立した前提で第4号として置いております。定款抜粋のところには理事の数を改定後の理事10人以上17人以内といったところで記載をし、なおかつ各支部振り分けも先ほどと同じになりますけれども、ご覧の数字で改選をするといったところで、議案として表されております。

(田口副会長)

今、役員の改選について説明がありました。もともと総務委員会の付託事項ということで、何回となく総務委員会の方が集まっていたいて、支部長を中心にですね、意見をさせていただいて、その結果を報告をする。総務委員会と事業委員会がありまして、事業委員会については、食のキャンペーンであったり、そういったものですね。で、総務委員会においては、各支部の予算であったり、あるいは役員の定数であったりといったものを議論させていただいて、理事会の方に報告をしていただくというのが慣例になっているというふうに認識をしております。現状、総務委員会の方からそのような報告がっておりますが、いかがでしょうか。

(泉顧問)

泉でございます。今の件につきましては、私も聞くところによりますと、この理事の定数、各町の理事の

定数は総務委員会に付託をされたということを私は聞いておりました。そういう中で、その総務委員会の報告は、どうだったんですかね？人数の各支部の総務委員会での結論は？

（田口副会長）

前々回の時に、総務委員会からは案が、人数だけの案が出ました。前回の理事会において、本渡支部の1名増というようなご提案がありました。理事会の方にですね、そういう進言があったものですから、理事会の方に諮りまして、一応承認を得ているという状況です。

私がこの理事になってから、総務委員会の付託事項に対して、理事会で改定をするという記憶はございません。過去に。ただあの理事会の方にですね、そういうお願いがありましたので、一応、理事会の方でちょうど私が議長をしておりましたので、賛成、反対を取りまして、一応賛成というようなことで、本渡を1名増やした状態での案にさせていただいているという経緯でございます。じゃあそれではあの、現行の、今提出されております人数というようなことで、新理事については右に書いてあるこの表というようなことでよろしいですか？

（中山事務局長）

はい。この後、皆さん残っていただいて、新理事予定者会議に出ていただくんですけれども、今話があった通り、新理事の候補者としましては、先ほどの紙に載っかっているところになりまして、加えて支部長が理事じゃないところもあったりするので、分かりやすいところで、新支部長には丸印を付けたり、名前の前には星印のある方が新規の方々となっております。こちらは後ほど新理事予定者会議でも使いますので、後ほどまたご説明申し上げます。

（田口副会長）

はい。そしたら次を。

（中山事務局長）

はい。それでは総会議題の5つ目は、令和7年度の事業計画及び収支予算についてといったところになりますけれども、3月の第4回理事会におきまして、説明申し上げておるので、ここでは報告といった形となりますので、あらかじめご承知おきください。報告第1号としての令和7年の事業計画及び収支予算についてこちらはまた前回の理事会でご説明申し上げます、令和7年の基本方針が(1)から(4)まで記載があります。

冒頭会長からもありましたように、来年の雲仙天草70周年ですね。そういうところについての動き方となりますので、ご承知おきください。それでは本年度の事業内容のところ、こちらの説明をいたします。21ページになります。令和7年度の補助事業です。

観光宣伝及び観光客の誘致といったところでは引き続きとなりますけれども、観光宣伝CMを打ってまいります。支部事業のところは、これはあの事業計画、この場では別紙はございませんけれども、前回の理事会で使わせてもらってる各支部の事業をご覧いただければと思います。部会の活動はですね、今年度としましては、合同正副部会長会議を開催して、方針を決めてまいります。**ここまで！**

各部会の役員の方々の一覧は、その表に載っかっている方々となりますので、ご確認ください。おめくりいただきまして22ページですね。こちら天草朝食、こちらまあ先ほど6年度の実績と同様の中身となります。

2番目の観光に関する調査研究方法ですけれども、情報の収集、こちらアンケートの分析内容となります。3番目の観光客受入れ態勢の整備ですね。こちら情報媒体の作成といったところと言うと、今年度もランチガイドの改訂増刷を行ってまいります。

(2)の観光客受入れ態勢整備ですね。こちら多言語自動翻訳機能やインバウンド関連業務も担います。23ページのうち1番上に内訳が書いてあります。ホームページの運営等々です。4つ目の観光関係諸機関との連絡協調としては、周辺地域との交流を深め広域観光の連携を強化して、天草市への集客を図るとしております。内訳としましては、南天草との連携、島の宝観光連盟ですね、こちら、書いてあります通り今のところ、今年度をもって解散するといったところが、4月19日の全体会で可決していることを、ここでご報告申し上げます。天草宇土半島との関係は、従来通りとなります。

新しいところと言うと、1番下ですね。来年グランフォンドという自転車の大会が来年予定されていて、今年は12月にそのプレ大会が開催予定となっております。

はい。おめくりいただきまして、ここからは特別会計の中身となります。令和6年度と変化が大きいんですけど、まあ引き続き旅行商品造成というところと言うと、造成したものを今回販売してですね、

より認知向上を図ってまいります。

化石採集クルージング。こちらは、従来委託でしたけれども、ここに書いてある通り、プロポーザルを経て事業者を決定するといったことで、まあ従来担当としてですね、化石採集クルージングを受託できるようプロポに参加していきたいと考えています。

2番目の業務委託費ですね。こちら旅行商品造成というところでは、今年こちらにもまた新しいところを作っていきたいというふうに考えています。次の観光客受入態勢整備(牛深観光案内所)は、昨年度より事業費を増額した中で、観光客の利便性に寄与していきたいと思います。崎津集落の清掃も昨年同様です。宿泊数調査も昨年同様、ポルト委託料は若干上げていただいております。最後のチャリチャリ実証事業の方も、ポート数をほぼ倍増、台数も倍増させて利用促進を図っていくことになっております。

25ページ、その他、こちらにも会長から説明ありました通り、ポナンクルーズ寄港が2日間あって、今回は、一日滞在ということで、長い時間、崎津を満喫してもらいました。

冬の天草誘客推進協議会あまくさロマンティックファンタジーも昨年同様となります。ハイヤ保存会につきましても、事業費の若干変化はありますけれども、行ってまいります。

おめくりいただきまして、自主事業ですね。まず食のキャンペーンの①ですね、こちらは今月いっぱいまで継続しております第10回の天草生うに三昧ですね、現在進行形の中身となっております。右のページは27ページこちらは夏から冬になりますけれども、②伊勢海老祭りのところを展開していくというふうに考えています。

③の井井フェアもですね。こちらにもまあ昨年同様となって、事務局独自運営、担当を協会には置かない方法で展開をしようと思います。④天草大王と車エビ、今年度現状不明というところで、今のところはまだ詳細決まらずというところになっています。最後の28ページですね。委託費、DMO推進費としましては、今後当協会としてどうあるべきか検討していくといった話。あとは弁護士さん、顧問料とこういうところもまあ引き続きですね、こちらにも継続していくというようなことになります。以上、報告第1号の内容、令和7年度事業計画となります。

加えて収支予算にいきます。もう一つのホッチキスで左肩で一か所止めてある収支予算書をご確認ください。1枚目が今年度の令和7年4月1日から令和8年3月31日までの一般会計の収支予算書。二枚目が特別会計の収支予算書といった形になっております。

はい。駆け足でしたけども、令和7年度の事業計画と収支予算は以上となります。

(田口副会長)

はい。今、あの説明があったんですけど、少し早い説明でしたので、あの、見ていただいてですね、どんなことでも構いませんので、お気づきの点とかも含めてご指摘いただければと思っております。

(藤本会長)

ポナンクルーズの受け入れが昨年が270万円。今年度は500万円。まあ約2倍になってますけども、その内訳は？

(中山事務局長)

実は500と計上していますけれども、実際としましては418万程度でした。まあ、値上がりがですね、あちこちあったりしてるのと、あとはですね、一番、ちょっとお金かったのは、通訳料が去年は県とか市が持っていたんですけど、それが今回は全部観光協会がまるっと窓口として持つといったところで、去年は通訳費を県とか市、県がまあ持っていたところを、今回は全部まるっと、こちらがご用意しているといったところが多い。あとは、半日から一日になった滞在がですね、ということで、若干、去年から比べると増額にはなりますけれども。ポナン側からすると上天草に寄らなくてよかったっていうことから考えると、ポナン側としては、ラッキーと思っているかもしれないです。

(藤本会長)

あと皆さん、県の速報値で昨年、インバウンドが143万人と過去最高を更新いたしました。昨日観推協の総会ありましたけれども、そのうち1%しか天草に来てないそうです。1%とか、もう約1万5千足らずですけども、まだまだ天草にはまあプロモーションかけて、あの誘致する可能性、余地は十分あるなと思ひまして。もしよければ今度はインバウンドの受け入れ態勢、予備費の事業費をもっと増やしていったら、より天草にお越しいただくような施策をした方が良くないかと私は思っております。

また、7月からはついに本丸のあの上海便も就航するというので、ますますインバウンド熱が帯びてくるように思いますので、まあ、県内各地でも熾烈なインバウンド誘致合戦が始まっておりますので、この

天草は魅力をそうざらえというか、まあ県も商談会組んでくると思いますが、そういったものを積極的にあの、参加しながら。また、あの関係者のまあ招待をこうファンドツアーなんかもどんどん取り入れてですね。そのためにもやっぱりインバウンド予算を増やしていくべきだと考えております。

（田口副会長）

ありがとうございます。この連休もですね。イルカウォッチングの状況を話しますと、海外の方、それも個人の海外の方が、実に毎年よりも非常に多かったような感じがします。で、国内の、特に九州あたりは少し減ったんじゃないかな。ただ、海外の方が少し増えていると。ただ、団体でお越しの方は。少し全体的に減っているんじゃないかなというのは実情もございますので、今会長の方からインバウンド事業、これはあの補助金もそうですが、インバウンド事業にかなりの国も手厚くフォローをしておりますので、このあたり、松崎課長なんか補足していただくようなことはございませんか？

（松崎課長）

はい、インバウンド事業につきましてはですね、天草市の課題というのは、やはりあの2次交通だと思います。福岡、それから熊本にはまあ段々増えてきてるんですけども、そこからどうやって、来ていただくかというところで、非常に重要なかなと思っております。

じゃあ空港まで来ていただいた、そのあとですね、そういうものがあるかと思えます。それについてはですね、割とあの台湾の方は手続きをすると、こちらで運転ができたりとか、あの割とその規制が軽いと言いますか、そういうところがあるかと思っております、非常に台湾、それからよく来ていただいている韓国は、対象として有効じゃないかなというふうに思っております。

あとですね、インバウンドというのは少しですね、ちょっとずれるんですが、TSMC周辺の、もうすでに熊本に住んでおられる台湾人の方、この方はですね、もう車を持ってるわけです。そこに強くアプローチするのは有効な手段じゃないかなというふうに思っております。

つい昨年その前までは、なかなかその韓国プロモーションに対してはですね、あまり対応をしていただけなかったところがあったんですが、今はですねずいぶん落ち着いてきて、それから台湾人の方のコミュニティも少しずつできているというようなことがあります。

あとはあの熊日新聞がですね、あのフォルモサくまもってという、その方(TSMC関連の方々)たちを対象とした、文章も繁体字で書かれたタブロイド紙を今作っております、そこに広告を打つというのは直接届くものですから、割と有効じゃないかなと思っております。ある程度の所得がある方で、車をお持ちの方ですので、まあ、そこに天草の良さをですね、PRしていけば来ていただけるんじゃないかなと。1番可能性が高い、入るんじゃないかなというふうに思っています。

（田口副会長）

ありがとうございます。先ほど会長から1%しか来てない。これはあの、宝島もそうですけども。本来、そういった方を誘致するためにあるんじゃないかな。だから行政も、民間の私たちもそうですけども、一丸となってですね、やっぱり実績値を見ながら、やっぱりあの職員の方もそうですけども、やっぱり実績値は出てるわけですから。それに関して他所は、例えば多いところはどんなことをやられているのかというようなことも踏まえ、対応していかないと、私は1%しか取らない。これはちょっと二次交通の問題があったとしてもですね、ちょっとやっぱり宝島としては、やっぱり恥ずべきところじゃないかなと。もっとやっぱりそのあたりに力を入れるべきじゃないかなというふうに。まあちょっと今日議長してるんで、あのこう、一般の回答ができないんですけども、まあ今の実績を聞く範囲ではですね、まあ、あの実績を捉えて、やっぱり新たなことをやっていくってことだろうと思うんですけど。予算を増やしたいというのが今、意見があるんですけど。局長、その予算については、今、この予算を出してあるんでしょう。

（中山事務局長）

はい、予算は説明した事業に対するお金のところはその右に、予算額は一応記載をしております。

プロモーションで言うと、観光振興課の中の組織も変わって、プロモーション係ができていて、今、関西万博をやってますけども、9月3日に万博の場で、PRの場があるということがだいぶ現実味を帯びてきていて、そのようなことになるかと思えます。

加えてITFと言って、11月に台湾で行われるインターナショナルツーリストフェアですかね、県からもお話が来ておって。あとは天草阿蘇熊本のAKUA協議会を使いながら4ブースを確保するような動きもお話が来ておるので、そういったプロモーション活動は積極的にやっていきたいというふうに思っています。

（田口副会長）

すみません。その予算を増やしたいとあるんですけど、なんか例えばその他の事業に絡めて、予算を増やすとかじゃないと。これ松崎課長、今議論して承認をいただいている予算で、市の方は通ってるって理解でよろしいですか？

（松崎課長）

はい。そういうことになります。

（田口副会長）

じゃあ、ここの中での少しのやりくりはできるかもしれませんが、例えば今言われたように、インバウンド事業に新たにプラスでっていうようなことは難しいという理解ですか？

（松崎課長）

そのプロモーションとかのあの予算の中で我々の中でインバウンドを強めに使っていくということが可能な方法じゃないですか？今の現行の予算の中で、現行のその予算をどう使っていくかの中でやっぱりインバウンドの力を入れていこうというのは、この中で合意形成ができれば。

（田口副会長）

はい。ありがとうございます。じゃあ、一度そういった形でこう実施していくときにはですね。少しそれを加味してやりましょう。で、他に皆さんの方からご意見とか。

（古川）

すみません、事務局から一点なんです。総会資料の21ページ。令和7年度補助事業とあるんですけど、②のですね、各支部事業のところに別紙参照がありまして。数年前までは別紙、あの総会で別紙までつけていた経緯があって、ここ数年、もう多分報告だからだと思いますが、その別紙をつけてないらしいということで、ここはすみません、削除になると思いますので、よろしくお願いいたします。

（田口副会長）

21ページの各支部事業の別紙報告ですか。

（古川）

その別紙参照の部分が削除。

（田口副会長）

あ、これがなくなるんですね。つけてないんですね。はい。あと係数関係とかございませんか？

はい、なければ、承認いただいたということでよろしいですか。はい、ありがとうございます。

（理事）

全員承認。

（中山事務局長）

ええ、そうしますとだいぶ時間が押してるんですけども、総会議題としては以上といたします。続きましての理事会議題の方に行きたいと思っておりますけれども、第1回理事会のこの冊子をご覧ください。中身としては、そう多くはございません。

まず別紙で一枚、新規会員の承認と退会会員の報告についてとありまして、一枚もので横長のA4で、正会員及び退会の報告の紙があるので、そちらをご覧ください。こちら、前回理事会以降、退会が、6団体が退会となっておって、こちらは報告となります。

2番目の事業経過報告ですね。こちらはまだ2ヶ月しかないんで、そう多くはないんですけども。理事会の資料をめぐりいただきますと、(2)の2025年の4月5月の事業経過報告ということで、まず最初は食のキャンペーンということで、先ほども出てきております生うに三昧と、2番目は先ほどもこちらも同様、クルーズ船が来ておるということが書かれております。

おめぐりいただきますと、4ページはその停泊しているクルーズ船ですね。従来通りですけども、この訪問記念帳をお配りをしたということになります。

3つ目の令和7年度の海開きにつきましては、6月14日土曜日に牛深町の砂月海水浴場にて行うことが決まっております。時間は10時の予定ということであります。

(4)の令和7年度業務委託の内容については、すでに先ほど説明をしている中身となりますので、割愛いたします。

最後5ページのご意見クレームについては、5月3日の匿名メールがあったんですけども、まあそういった内容ですね。切符売り場の方のご対応に対してメールが来たというところになります。対応としましては、しおさい館の方へのヒアリングと、天草市役所御所浦支所への情報共有をさせていただいております。簡単でございますが、理事会の議題の報告となります。

(田口副会長)

はい、今4、5の報告がありましたけれども報告内容について

(中山事務局長)

はい、ちょうど3時になりまして、以上が第1回理事会の中身となります。引き続き新理事予定者会議となりますけれども。まあ10分程度、休憩入れましょうか？15:15再開します。

(田口副会長)

はい。一度閉会いたします。今期で(理事を)終わりの方は？

(中山事務局長)

副会長だと金子さんと浜崎英文さん、理事の方だと、天草の田中さん、有明の本田理事、倉岳の倉田理事。

(藤本会長)

役員退任されるかたから一言お願いいたします。

(中山事務局長)

お言葉、本田さんから一言お願いします、ご指摘でも。

(本田理事)

すみません。有明支部の本田です。今年、有明のリップルランドのさざ波フェスタがちょっと大きなイベントになります。で、そのタイミングでちょっとあの理事から抜けるのは、抜けないでっていうことは松本会長からも言われてたんですけど、このような形になって、ちょっと私的にはちょっと残念ですけども、まああの有明支部の中では今まで通り、あの、一生懸命していきたいと思いますので、ええ、この理事会には出席できませんけど、一会員として頑張りますので、また引き続きよろしくお願いします。以上です。

(倉田理事)

どうも。ありがとうございました。まあ、皆さんのお役には立たないで終わるようですが。今後もお手伝いはしようと思っておりますので、よろしくお願いします、はい、お世話になりました。

(田口副会長)

はい。ありがとうございました。

議事録署名人

（一社）天草宝島観光協会 会長 _____ 印

監事 _____ 印

監事 _____ 印

